

ご使用後のメンテナンス

- ご使用後は泥や汚れ等をよく落とし、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてから保管してください。汚れのひどい場合は、スポンジ等で水による手洗いをしてください。
- 汚れたり濡れたまま保管すると、生地劣化を早めるばかりか、カビや色落ちの原因となりますので十分注意してください。また定期的にフッ素系の撥水スプレーを塗布すると生地表面の撥水性が持続します。
- ファスナーの泥汚れはファスナー破損の原因となりますので、常にきれいにしてください。定期的にYKKファスナーメイト(シリコンスプレー等)を塗布すると、スライダーの動きがスムーズになります。
- テントポールもよく汚れを落とし乾燥させます。ジョイント部には潤滑剤を薄く塗布してください。濡れたまま保管しますと、腐食し強度低下につながります。
- 生地の破れ、ファスナーの故障、ポールの折損などの修理は弊社にて承ります。その際、製造ナンバーを販売店または弊社にお知らせください。
- 次の山行に備え事前に異常や故障を発見するため、メンテナンスの際、テントポール、ファスナー部、張り綱などよく点検してください。

ESPACE SOLO® WINTER

エスペース・ソロ ウィンター

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください



- ご不明な点は販売店、または弊社までお問い合わせください。
- この取扱説明書は仕様改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社ヘリテイジ 〒399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高2827-18
☎ 0263(82)0141 WEB SITE : <http://heritage.co.jp>



ESPACE®

各部名称と説明



A テントパネル

テント室内のムレ(結露)を防ぎ換気を図るため、通気性に優れた生地を使用しています。防水性はありませんので降雨時には必ずフライシート(別売り)を併用してください。

B 吹き流し式入口

入口の凍結が少なく、出入りの際に雪などの吹き込みを抑える冬季仕様の入口です。

C 張り綱

テントを固定し、耐風性、居住性を高める重要なパーツです。ポールの延長線上でコーナーより約70cmの位置にペグなどで固定してください。

D プラスチック3つ穴自在

テントをしっかり固定する際、張り綱を強く張

るためのものです。また撤去の際は、自在を調節すれば簡単にゆるみます。

E フルコネクテッド・ポールスリーブ(PAT)

ポールスリーブ末端まで完全に連結した特殊なポールスリーブにより、一方からポールを差し込むだけで簡単、スピーディーに設営が完了します。

F アーチ状スリット

このスリットからポールを差し込んだり抜いたりします。

G ベンチレーター

前面パネル上部と後面パネル中央下に吹き流し式のベンチレーターを設置。後面はちょっとした荷物のおし入れや雪取りが出来る大きさです。

H グランドシート

パネル面までグランドシートが立ち上がり(バスタブ式)、雨水の跳ね上がりがテントパネルに付着するのを防ぎます。防水地(耐水圧2,000mm/cm²以上)を使用していますが、地面に接しさらに人の体重が加わるために水がしみることがあります。防水、保温のためにテントマットを必ず使用してください。

I テントポール

テントの生命部分ともいえるパーツです。メンテナンスをしっかりと行い、山行に合わせて予備パーツなどを携行してください。

J 入口留め具

吹き流しを束ねて入口を開放するためのトグルです。

K 内張り

防風、保温効果を高める着脱可能な冬季用インナーシェルです。

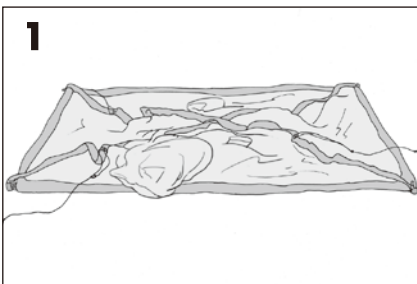
L ペグ

地面にショックコード、張り綱などを固定するアルミ合金製の杭です。

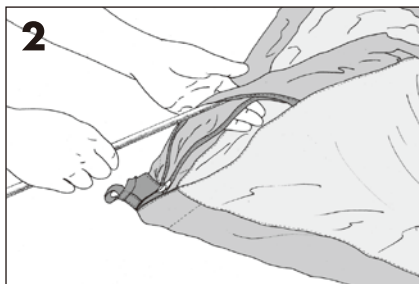
M フライ接続用バックル

ソロウインターを降雨季に使用する際に、別売りのフライシートをワンタッチでスピーディーに本体と接続することが可能です。

設営方法



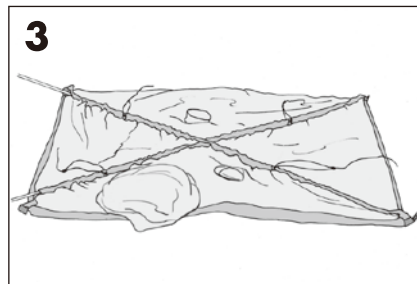
1 テント本体を広げます。テントを立ち上げた時にテントが膨らむように、入口は半分程開けた状態にしてください。風がある時にはテント室内に風が吹き込まない程度にほんの少しだけ開けます。基本としては入口を風下側に向けます。強風時にはペグでコーナー部分を仮り止めなどとして、飛ばされないように十分注意してください。



2 ポールを組み合わせ、アーチ状スリットからポールスリーブに差し込みます。どのコーナーからでもかまいませんが、必ずスリットの右側(黄色いテープのある側)からさし込んでください。



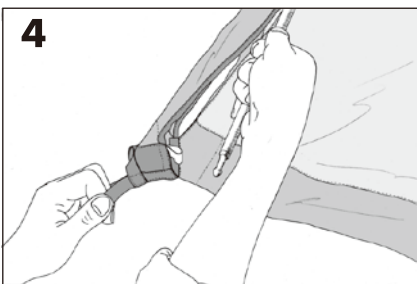
ポールを組み合わせる時には、各接合部(ジョイント)を完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、折損の原因となります。



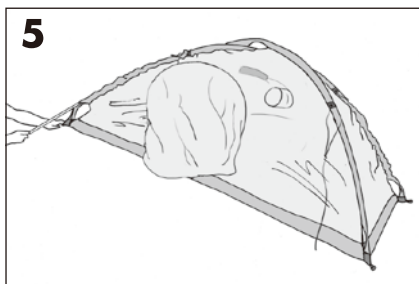
3 頂点ではポールが交差しますが、もし引っかかった場合は無理に差し込まないで、ポールスリーブ通りに交差させてください。(この際、交差する下側のポールスリーブからポールを通し始めるとスムーズです。ポールスリーブ末端は袋とじになっていますので一気に通します。一気に通さないとスリットからポールが抜け出る場合があります。)



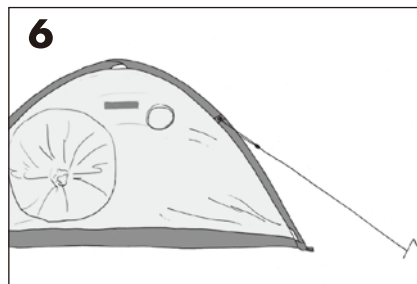
必ずポール先端がポールスリーブの末端まで行っているか確認してください。



4 2本目のポールが反対側のポール受けに到達したら、さらに押し込み、湾曲させて手元のポール受けにポール末端をセットしてください。ポール受けは右側がベルクロで半開しますので、そこからポール末端を差し込んでください。

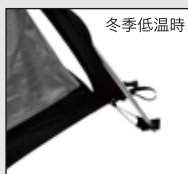
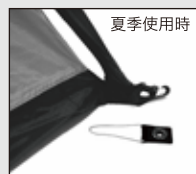


5 片側のポールをセットし終わったら、同じ手順で残りのポールをセットします。



6 張り網は各コーナーからポールの対角線の延長上、約70cm離れた付近にしっかりとペグで固定します。雪上などではアンカーシートが有効です。

●冬季低温下での設営注意点



低温下での設営の際、テントパネルの生地が収縮し、ポールエンドを袋状ポール受けにきつくて差し込めない場合があります。その場合には、各コーナーに付属している緊急用グロメットにポールエンドを差し込んでセットしてください。夏季使用時など、緊急用グロメットが不要な場合には取り外しが可能です。

オプション

ソロ用レインフライ

¥13,000+税 (0.48kg)

ソロ ウィンターを降雨季に使用するにはレインフライが必要です。

入口を合わせて被せ、各コーナーのバックルに接続するだけの簡単設営。フライに張り綱が付いているのでレインフライ使用時には本体の張り綱は不要になります。



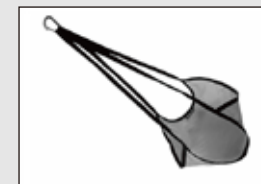
写真に使用している本体はソロ3シーズンです

アンカーシート

¥500+税 (28g)

ペグの使用が困難な雪上でテントのガイラインを固定するためのシートです。

雪穴を掘りアンカーシートに雪を載せて埋め込んで使用します。

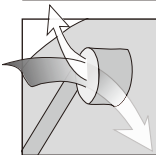


注意事項



火気厳禁

テント室内でのコンロ、ランタン等の火器は絶対に使用しないでください。テント室内は限られた空間のため火器を使用すると、火災発生の恐れや一酸化炭素中毒の恐れもあり非常に危険です。やむを得ず使用する場合は、必ず入口、ベンチレーターを開けて常に換気してください。またテントの生地は可燃性素材ですから、火器はテントパネルから十分に遠ざけ火災に注意してください。



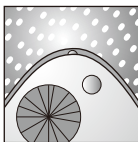
換気必要

テントパネルはテント室内のムシを防ぎ、換気を図るために通気性を優先しています。しかし、雨天時やテントパネル面が結露または低温化で氷結した時などは、通気性が悪くなります。テント室内ではベンチレーターや入口を開けるなどして、常に換気をしてください。



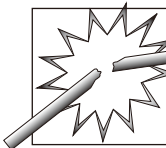
張り綱の取り扱い

このテントに付属している張り綱は外皮にポリエステル、中芯にダイニーマを使用しているため、軽量で強度(約100kgf)も保持しています。しかし、従来の張り綱より径が細いので、自在を急激にスライドさせますと手を火傷したり自在を破損させる原因となります。張り綱を張る際は岩角などに触れないように張ってください。摩擦により切断しますので十分注意してください。ペグなどを打てなくて岩石を利用する際は、直接張り綱を岩石に結ばずに別のロープ等を利用してください。



内張りとおプション フライシート

ソロ ウインターに付属している着脱式の内張りは冬季に防風、保温性能を高めるためのインナーシートです。降雨季に使用する時にはオプションのフライシートが必要になります。



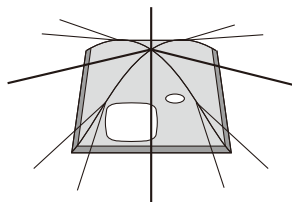
破損時には(スベアポール、応急処置品の携行)

テントポールは悪天候や不測の事態などで折れることがあります。折損の際はショックコードを切断し、破損したポールをスベアポールに交換し応急処置してください。生地が破れた時には、ガムテープなどで両面から張り合わせて応急処置をしてください。山行日程に合わせて、スベアポール、スベアインサート、予備の張り綱などを携行してください。

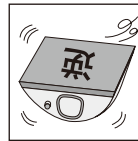


悪天候・強風時には

悪天候が予想される時には早急に下山する事が安全登山の鉄則ですが、万が一悪天候にみまわれた時には、各張り綱がしっかりと固定されているかを再点検してください。烈風時には補助ロープを利用して、テント頂点のポール交差部からテントパネル側に張り綱を追加固定してください。また、張り綱を一カ所からV字形に2本張ると効果的です。

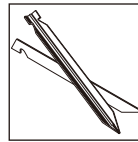


⑤



テントを乾かす時

グラウンドシート下側を乾かすために、ポールをセットした状態でテント本体を逆さまにしないでください。ポールスリーブやテントパネルが地面と擦れ生地の劣化を早め、またポール折損の原因ともなります。



購入後の付属品の確認

テントやパーツの製造、販売には十分注意していますが、ご購入後は必ず山行前に試し張りをしてください。その際、付属品の数、ポールサイズ、設営具合などをご確認ください。また、テントの設営は繰り返し練習の上、実際の山行に備えてください。

	ペグ	張り綱	スベアポール	
ソロ	ウインター	8本	4本	1本



防水コーティングの劣化(加水分解)

グラウンドシートの防水コーティングに使用しているポリウレタン樹脂は、ご使用にならなくても、徐々にポリウレタン樹脂が劣化してポロボロになったりベタ付きが発生します。これは、ポリウレタン樹脂が空気中の水分、気温(熱)等の影響で次第に劣化していく化学反応(加水分解)によるものです。

加水分解は、一般的に5~7年をめやすとして進行し、復元させることは不可能です。使用、保管方法によっては劣化が早まりますので、ご使用後はメンテナンスを行ない、直射日光を避け、高温、多湿にならない場所で保管し、時々広げて乾燥してください。

ESPACE

NO.

製造ナンバー

アフターサービスのため、製造ナンバー(テントバッグとテント室内に表示)により、ポールサイズ、パーツ類を管理しています。修理のご依頼、予備ポールやパーツのご購入の際は、必ず製造ナンバーを販売店にお知らせください。

⑥